

科目名	脱臼整復実技							年度	2026		
英語科目名	Dislocation reposition studies practical skill							学期	後期		
学科・学年	柔道整復科 3年次			必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	有山敦士、宮本功三、青木伊之、後藤晃弘、杉本知、加藤健太、秋田雄大			教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		

【科目の目的】

柔道整復師として外傷【脱臼】の施術を行う為、それぞれの関節における構造・発生機序・症状・合併症・整復法・固定法を学ぶ。

【科目の概要】

脱臼を統括します。

【到達目標】

学生が脱臼について知り、理解できるようになることを目標とする。主に顎関節・肩関節・肘関節・股関節・膝蓋骨・膝関節・足部の脱臼について学ぶ。臨床現場対応するために、発生機序、症状、合併症、整復方法、固定法を学び、他の外傷と鑑別する能力を養うことを目標とする。

【授業の注意点】

医療人としての資質をはぐくむため受講態度や私語などは厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めないと共に、公共交通機関の遅延等が予測される場合はそれに対応できるようにすること。1年生からの継続した内容が必要となるため、骨折・軟部組織損傷などの他教科も合わせた予習・復習が必要である。授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	肩鎖関節上方脱臼の診察及び整復法、固定についてよく理解し、説明することができる。	肩鎖関節上方脱臼の診察及び整復法、固定についてよく理解している。	肩鎖関節上方脱臼の診察及び整復法、固定について理解している。	肩鎖関節上方脱臼の診察及び整復法、固定についてあまり理解していない。	肩鎖関節上方脱臼の診察及び整復法、固定について全く理解していない。
到達目標 B	肩関節(前方)烏口下脱臼の診察及び整復法、固定についてよく理解し、説明することができる。	肩関節(前方)烏口下脱臼の診察及び整復法、固定についてよく理解している。	肩関節(前方)烏口下脱臼の診察及び整復法、固定について理解している。	肩関節(前方)烏口下脱臼の診察及び整復法、固定についてあまり理解していない。	肩関節(前方)烏口下脱臼の診察及び整復法、固定について全く理解していない。
到達目標 C	肘関節後方脱臼の診察及び整復法、固定についてよく理解し、説明することができる。	肘関節後方脱臼の診察及び整復法、固定についてよく理解している。	肘関節後方脱臼の診察及び整復法、固定について理解している。	肘関節後方脱臼の診察及び整復法、固定についてあまり理解していない。	肘関節後方脱臼の診察及び整復法、固定について全く理解していない。
到達目標 D	肘内障の診察及び整復法についてよく理解し、説明することができる。	肘内障の診察及び整復法についてよく理解している。	肘内障の診察及び整復法について理解している。	肘内障の診察及び整復法についてあまり理解していない。	肘内障の診察及び整復法について全く理解していない。
到達目標 E	PIP関節背側脱臼の固定についてよく理解し、説明することができる。	PIP関節背側脱臼の固定についてよく理解している。	PIP関節背側脱臼の固定について理解している。	PIP関節背側脱臼の固定についてあまり理解していない。	PIP関節背側脱臼の固定について全く理解していない。

【教科書】

教科書(柔道整復理論編・実技編公益社団法人全国柔道整復学校協会 監修)に準拠する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験にて評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		脱臼整復実技			年度	2026
英語表記		Dislocation reposition studies practical skill			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	認定実技審査 肩鎖関節脱臼	肩鎖関節上方脱臼の対応をどの様にするのか。	1 発生機序・症状	肩鎖関節上方脱臼の発生機序と症状が説明できる。	3	
			2 整復	肩鎖関節上方脱臼の整復ができる。		
			3 固定	肩鎖関節上方脱臼の固定ができる。		
2	認定実技審査 肩関節脱臼	肩関節烏口下脱臼の対応をどの様にするのか。	1 発生機序・症状	肩鎖関節上方脱臼の発生機序と症状が説明できる。	3	
			2 整復	肩鎖関節上方脱臼の整復ができる。		
			3 固定	肩鎖関節上方脱臼の固定ができる。		
3	認定実技審査 肘関節脱臼	肘関節後方脱臼の対応をどの様にするのか。	1 発生機序・症状	肩鎖関節上方脱臼の発生機序と症状が説明できる。	3	
			2 整復	肩鎖関節上方脱臼の整復ができる。		
			3 固定	肩鎖関節上方脱臼の固定ができる。		
4	認定実技審査 肘内障 PIP関節脱臼	肘内障とPIP関節背側脱臼の対応をどの様にするのか。	1 発生機序・症状	肘内障の発生機序と症状が説明できる。	3	
			2 整復	肘内障の整復ができる。		
			3 固定	PIP関節背側脱臼の固定ができる。		
5	脱臼総論	脱臼にはどのような事があるのか。	1 病的脱臼	病的脱臼を説明できる。	3	
			2 脱臼の固有症状	脱臼の固有症状を説明できる。		
			3 脱臼の整復障害因子	整復障害因子を説明できる。		
6	顎関節脱臼	顎関節脱臼にはどのような事があるのか。	1 分類	顎関節脱臼の分類を説明できる。	3	
			2 発生、症状	顎関節脱臼の発生、症状を説明できる。		
			3 整復法	顎関節脱臼の整復について説明できる。		
7	振り返り	前半の振り返り	1 認定実技審査	脱臼の検査項目についての内容を説明できる。	3	
			2 脱臼総論	脱臼の総論を理解し説明できる。		
			3 顎関節脱臼	顎関節脱臼について理解し説明できる。		
8	胸鎖関節脱臼 肩鎖関節脱臼	胸鎖関節脱臼・肩鎖関節脱臼にはどのような事があるのか。	1 分類	鎖骨の脱臼を分類し説明できる。	3	
			2 発生、症状	鎖骨の脱臼の発生、症状を説明できる。		
			3 整復法	鎖骨の脱臼の整復について説明できる。		
9	肩関節脱臼	肩関節脱臼にはどのような事があるのか。	1 分類	肩関節脱臼の分類を説明できる。	3	
			2 発生、症状	肩関節脱臼の発生、症状を説明できる。		
			3 整復法	肩関節脱臼の整復について説明できる。		
10	肘関節脱臼	肘関節脱臼にはどのような事があるのか。	1 分類	肘関節の脱臼の分類を説明できる。	3	
			2 発生、症状	肘関節の脱臼の発生、症状を説明できる。		
			3 整復法	肘関節の脱臼の整復法を説明できる。		
11	手指部の脱臼	手指部の脱臼には	1 分類	手指部の脱臼の分類を説明できる。	3	
			2 発生、症状	手指部の脱臼の発生、症状を説明できる。		
			3 整復法	手指部の脱臼の整復について説明できる。		
12	股関節脱臼	股関節脱臼にはどのような事があるのか。	1 分類	股関節脱臼の分類を説明できる。	3	
			2 発生、症状	股関節脱臼の発生、症状を説明できる。		
			3 整復法	股関節脱臼の整復について説明できる。		
13	膝蓋骨脱臼	膝蓋骨脱臼にはどのような事があるのか。	1 分類	膝蓋骨脱臼の分類を説明できる。	3	
			2 発生、症状	膝蓋骨脱臼の発生、症状を説明できる。		
			3 整復法	膝蓋骨脱臼の整復について説明できる。		
14	膝関節脱臼	膝関節脱臼にはどのような事があるのか。	1 分類	膝関節脱臼の分類を説明できる。	3	
			2 発生、症状	膝関節脱臼の発生、症状を説明できる。		
			3 整復法	膝関節脱臼の整復について説明できる。		
15	足部の脱臼	足部の脱臼にはどのような事があるのか。	1 分類	足部の脱臼の分類を説明できる。	3	
			2 発生、症状	足部の脱臼の発生、症状を説明できる。		
			3 整復法	足部の脱臼の整復について説明できる。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等